

知多半島周辺におけるウミガメ類産卵状況及び死亡漂着情報

2017年の知多半島周辺におけるアカウミガメの産卵は2例でした(図-1)。ここ数年、発見数の少ない年が続いています。



【図-1】産卵地点

常滑市の蒲池海岸では4年ぶりに産卵がありました(写真-1)。蒲池海岸は多様な海岸植物が観察できる自然豊かな海岸で、ウミガメが産卵に訪れることを知った小学生が毎年海岸清掃を行っています。また山海海岸では7年ぶりに産卵がありました(写真-2)。山海海岸は多くの海水浴客で賑わう海岸であるため、過去には調査で訪れたときに足跡などの形跡が消えてしまっていることがありましたが、近隣の旅館の方が形跡を踏まないように呼びかけてくださったおかげで、無事に卵を発見することができました。



【写真-1】上陸・産卵跡（蒲池海岸）



【写真-2】上陸・産卵跡（山海海岸）

愛知県では田原市や豊橋市に広がる表浜海岸においてアカウミガメが産卵することが一般的に広く知られていますが、知多半島周辺にも産卵に適した海岸が点在しています。一般の方がウミガメと遭遇する機会はほとんどありませんが、ウミガメのことをできる限り多くの方に知って頂き、目の前の海と砂浜を大切にさせて頂けたらと常々考えています。

また残念ながら死亡漂着は4例あり、アオウミガメの亜成体が3個体と、アカウミガメの成体雌と思われるものが1個体でした
 (図-2) (写真-3~6)。病気や事故で死亡したのか、死亡個体から推測することは非常に困難ですが、人間の生活や人工物がウミガメの命を脅かすことが無いよう、これからも注意して調査していきたいと考えています。



【図-2】 死亡漂着発見場所



【写真-3】 多屋海岸



【写真-4】 山海海岸



【写真-5】 内海千鳥が浜



【写真-6】 山海海岸

今後も、記録を残していくために皆さんからいただく情報がとても重要です。産卵はもとより、足跡を見つかったり、死体が打ちあがっていた場合でも是非、南知多ビーチランドまでご連絡ください。ただし、申し訳ありませんがお寄せいただく情報は、知多半島周辺に限らせていただきます。(伊藤幸太郎)